

カードでコミュニケーション

1. マンションコミュニティ研究会

マンションコミュニティ研究会は、
「集って住むってステキ！」が常識になる未来を目ざしています。
マンションが、人の気持ちを察し心を配りながら誰かのために
今自分ができることをする喜びを学ぶ学校として機能し、
マンションという集住のスタイルが
本当に価値あるものになるための実践的研究、活動を、
「切手のいらない年賀状」を送る運動からはじめています。

2. よいコミュニティが築かれているマンション

- ・よいコミュニティだと感じるマンション

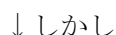


- ・特にイベントをしなくとも、
居住者が自然にあいさつや言葉を交わし、
あまり付き合いのない近隣にもさりげなく気を配り、
何かあったら助け合っていこうと多くの人が思っているマンション



3. どうしてうまく「つながり」が築けないか

- ・「無関心」とくくられがちなマンション居住者



- ・たいていの人は、個人の生活に踏み込まれたくないと思うのと同時に、
気持ちのいい近隣との関係は必要と思っている



- ・どのように働きかければよいかわからない、きっかけがない
- ・近い存在ゆえに慎重になっている
- ・相手がどう思っているか分からない
- ・セキュリティ重視、プライバシー・個人情報保護への過剰な意識が
マンション内での普通のふれあいをしにくくしている

4. どんな「コミュニティ」をつくっていけばいいか

- ・どんなコミュニティをイメージすればいいか



- ・普段はそれぞれの生活を大切にし、あまり濃い付き合いを求めない
- ・さりげなく周囲に気を配り合える
- ・どこかでちゃんとつながっているという「安心感」を感じられる

↓

- ・ゆる～くても、芯はあたたかい新しい都市型コミュニティを！

5. どうやって「コミュニティ」をつくれればいいか

- ・「さあイベントをしよう」、「詳細な名簿をつくろう」となりがち

↓しかし

- ・ベースにコミュニティに対する信頼と帰属意識がないとうまくいかない

↓

- ・一人一人のちょっとした気配りと行動でコミュニティを変えていく
- ・できる人から、負担なくできる小さなことから取り組む
- ・身近なお隣さんから

↓

- ・コミュニケーションの手段は直接会話だけではない

↓

- ・「あいさつ」をかわす関係をもう一步進めるために、
ちょっとした気持ちを伝え合う方法として「カード」の活用を！

6. まずはお正月の年賀カードから

- ・お隣同士、上下で暮らすことになったのも「ご縁」
(年代や家族構成が違ってても、気が合っても合わなくとも)
- ・共同生活は知らぬ間に人にお世話になったり、迷惑を掛けたり



↓

- ・年1回、隣人にも意識を向けて、年賀のカード＝「切手のいらぬ年賀状」を！

↓

- ・カードを送るというちょっとした勇気をきっかけに人の心の扉がゆるみ、ささやかな「つながり」が生まれる

↓

- ・それがだんだん育ち、孤立や孤独死を防ぎ、災害時の助け合いにつながる
- ・コミュニティのセーフティネットがゆるやかにつくられる

7. なぜカードを使うのか

- ・何か用事がないとお隣にも行きにくい
- ・相手の都合も気になる
- ・直接会って会話をするのはおっくう

↓

- ・いつか…とと思っているうちに日がたってしまう



↓でも

- ・カードを書いて、メールボックスに入れるぐらいならできる
- ・カードで気持ちを伝えるのも立派なコミュニケーション
- ・手書きの文字には気持ちを伝える力がある

↓

- ・マンションには、このくらいの距離感のコミュニケーションがちょうどいい
- ・役員にも居住者にも負担にならず第一歩が踏み出せる

8. なぜお正月の年賀状なの？

- ・カードを送る習慣は、日本ではまだまだ一般的ではない
- ・最近のはがきを書くことも少なくなった

↓でも

- ・お正月の年賀状だけは、インターネット社会になっても、まだまだ日本人の習慣

↓

- ・近隣へ「カード」を送る取り組みをもっとも始めやすいのがお正月

↓

- ・普段は、あまり意識することがないお隣同士でも、新年を迎えたことをきっかけに、年に1回ぐらいは、きちんとあいさつを交わし、近況を知らせる

↓

- ・親しい間でのあいさつとしても意味がある
- ・普段あまり付き合いがない関係でも「つながり」を築くよいきっかけに

9. なぜマンション全体で取り組むの？

- ・「カード」コミュニケーションはもちろん一人でもできる

↓しかし

- ・突然カードがきたら、急にどうしたのかと思うのではと相手の反応も気になる
- ・具体的にカードを用意したり、どうやって書こうかと考えているうちに、時間が過ぎてしまう

↓

- ・マンション全体で取り組めば、カードを送る趣旨がみんなに伝わっている
- ・使用する「カード」を管理組合が用意して配っていればすぐ行動できる

↓

- ・送る側も行動しやすくなる
- ・受け取る側も趣旨がわかって安心

↓

- ・ぜひマンション全体で取り組みを！

10. まずは行動してみよう

- ・いろいろ考えずに、まずは、カードを使ってみましょう！
- ・あなたのちょっとした勇気が、マンションの風土を変えていく一粒の種！
- ・それが、いずれ、ゆるくても温かい、

いざというときは隣人が頼りになると信じられる、

安心して暮らせるマンションコミュニティという大きな森に育ちます。



- ・コミュニティ形成の第一歩は、一対一のコミュニケーションです。
- ・どんな立派な理屈より、小さな行動の積み重ねに価値があります。
- ・みんなでいっしょに第一歩を踏み出しましょう。

11. カード de コミュニケーション

マンションコミュニティ研究会では、
このパンフレットの内容と実際にすぐ使用できる
年賀状やコミュニティ・カードをセットにした
「カード de コミュニケーション」という冊子を作成しました。

ぜひ、「カード de コミュニケーション」を活用して
「切手のいらない年賀状」運動にご参加ください！

12. 具体的な進め方

- ・ やってみようかなと思ったら、エントリーシートに書いてFAXしてください
↓
- ・ 担当者よりご連絡し、具体的なご相談
- ・ 実施が決まったら取り組みについて広報（広報フォーマットを用意）
- ・ マンションコミュニティ研究会より「カード de コミュニケーション」を送付
- ・ 12月中頃、冊子「カード de コミュニケーション」と管理組合からの案内文を各戸ポストに投函（案内文のフォーマットを用意）

マンションコミュニティ研究会

TEL: 090-7829-7094 FAX: 044-752-8037

e-mail: info@mckhug.com URL: <http://www.mckhug.com>